



最上川が運んできた宝物



3月3日は女の子の節句「ひなまつり」です。

雛人形では、三人官女が一般的ですが、柏倉九左衛門の雛人形は、五人官女で構成されています。また、全員が振袖を着た未婚女性であるのも大変珍しく、他ではなかなか見られない物です。

これらの雛人形の多くは、最上川舟運により京都からもたらされたものですが中山町内には今も最上川舟運の歴史や文化的景観が多く残っています。

その中でも岡地区は、県の「未来に伝える山形の宝」の登録になり、県指定有形文化財「柏倉家住宅」を中心とした屋敷群と総延長約1,000mにも及ぶ黒塀があり、美しい景観を形成しています。

みなさんも是非、中山町の伝統文化に触れ、豊かな自然に囲まれた屋敷群をご覧になってみてください。

★参考文献:『柏倉家ものがたり』【288/1】

岩田 浩太郎/編著 NPO法人 柏倉家文化村

裏面のおすすめコーナーは
「一度は行ってみたい絶景ガイド」です。
世界の絶景へタイムスリップしてみま
しょう!



<黒塀のまちなみ>

第23走者

愛読書リレー

今月のランナーは黒沼畜産株式会社
代表取締役社長 黒沼 望さんです!

『仕事は楽しいかね?』

デイル・ドーデン/著 野津 智子/訳 きこ書房



『仕事は楽しいかね?』
デイル・ドーデン/著
野津 智子/訳
きこ書房【933.7/t1】

悪天候によって空港に足止めをくった主人公が、そこで偶然出会った老人マックスから教わる仕事訓。「目標を持ってはダメ」など、通常のビジネス書にはない、ちょっと風変わりだけれど、目から鱗の仕事哲学の数々と、「いろいろ試すこと」の大切さをコココーラやリーバイス、アップルなどの成功事例とともに紹介してくれます。

この本を紹介するにあたり久しぶりに読み返しました。私が20代半ば頃、本屋さんに平積みされていた本の「仕事は楽しいかね?」のタイトルにドキリとして手に取ったことを思い出しました。社会人としてキャリアも浅く力もないのに、気持ちばかり焦っていた当時の私でしたが、この本を読んでから、「仕事」は「楽しく」なりました。仕事のことで悩んでいる若い方は是非読んでください。「試すこと」にハマると、きっと仕事は楽しくなりますよ!

♪ありがとうございました!! 次号のランナーは穂積織維 穂積勇人さんです♪

今月のおすすめコーナー

一度は行ってみたい絶景ガイド



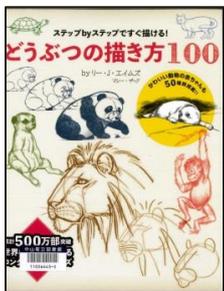
日々暖かくなり どこかへ出かけたくくなりますね。
 美しい自然、心ときめく景色を見る旅にでかけませんか？
 息をのむ絶景の数々をお楽しみください。

『鏡面絶景』Mdn編集部/編
 エムデイエスコポーレーション【290.8/キ】

『絶景富士山と日本百名山』
 洋泉社【291.0/セ】

『映画絶景旅! ヨーロッパ編』
 JTBパブリッシング【290.9/エ】

新しく入った本



『どうぶつの描き方100』
 リー・J・エイムズ マレー・ザック/著
 グラフィック社【725/エ】
 アメリカで1974年に発行されて以来のロングセラーです。さまざまな動物の描き方を、ステップbyステップのドローイング法で紹介します。



『浮世絵にみる江戸美人のよそおい』
 村田 孝子/著 ポーラ文化研究所/編
 ポーラ・オルビスホールディングスポーラ文化研究所【721.8/ム】
 当時の女性たちがどのような化粧や髪型、衣装などを身に付けていたのかを、身分や職業の違い、生活の様子などとともにやさしく解説する。



『四季をいつくむ花の活け方』
 谷 匡子/著 誠文堂新光社【793/夕】
 四季をいつくむ活け花の作例とともに、花を活けるために、日々感じていることを綴る。



『やまとあな』
 ヴァサンティ・アンカ/絵
 カイル・ミューバーン/文
 おおさくみちこ/訳
 ワールドライブラリー【E/ア】
 「やまと」「あな」はだいのなかよしです。お互いにあこがれて、モグラにたのんで入れ替わりました。味わい深いニュージーランドの絵本です。



『女王さまのぼうし』
 スティーブ・アントニー/さく せな あいこ/やく
 偕成社【E/ア】



たいせつなひとに会いにいく女王さま、そこに風がふいてきて、お気に入りのぼうしが飛ばされてしまいました。ぼうしと一緒にロンドンの街を巡って、最後はたいせつなひとのところへ。女王さまのたいせつなひとってだれでしょうね。

ここに掲載されている本は一部です